

Q.

バリュー株とグロース株の違いは？

A.

「本来の企業価値」よりも株価が低い状態（割安）にある株を『バリュー株』、業績や利益の成長率が高く、今後も高い成長が見込まれる銘柄を『グロース株』といい、2つは対極の関係にあります。

バリュー株は割安株とも呼ばれ、企業が生み出している利益や保有資産などから算出される企業価値と比較して、株価が低い状態（割安）にある銘柄を指します。一般的にバリュー株かどうかを判断する際にはPBR（株価純資産倍率）とPER（株価収益率）を使用します。競合他社や自社の過去平均等との比較で高いと割高、低いと割安と考えることがあります。なお、PBR1倍未満は、企業の清算価値を下回った株価水準を意味することがあります。グロース株は成長株とも呼ばれます。成長性や将来性に対する評価が高いことから、PERやPBRは市場平均よりも高い傾向にあります。

バリュー株の代表例

バリュー株には、すでに成熟した業種の企業や、業績が安定していて利益も着実に出しているものの、知名度や話題性の低い企業が多く該当し、銀行業や製造業等が多い傾向があります。

<MSCI Worldバリュー指数の上位5銘柄>

銘柄名	業種	実績PBR (倍)	今期予想PER (倍)
JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	金融	2	11
ホーム・デポ*	一般消費財・サービス	405	26
ユニテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	6	24
ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	6	16
パークシャー・ハサウェイ	金融	1	19

グロース株の代表例

グロース株には業績が急拡大している企業や革新的なサービス・商品を提供している企業が多く該当し、ITやテクノロジー関連企業等が多い傾向があります。

<MSCI Worldグロース指数の上位5銘柄>

銘柄名	業種	実績PBR (倍)	今期予想PER (倍)
アップル	情報技術	43	29
マイクロソフト	情報技術	16	35
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	15	60
テスラ	一般消費財・サービス	42	187
アルファベット (クラスA)	コミュニケーション・サービス	8	24

* ホーム・デポは株主還元注力しており、積極的に自社株買いと配当支払いを行ってきました。自社株買いにより貸借対照表上の純資産が計算上極端に小さくなっているため、実績PBRが極めて高くなっています。

(注) データは2021年11月末現在。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクター分類。

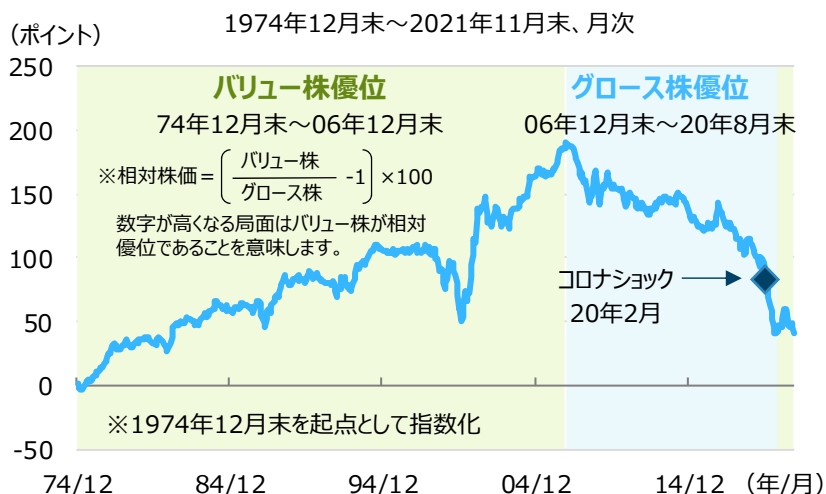
(出所) FactSet、Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

バリュー株とグロース株は、景気・金利のサイクルの中で異なる動きをする傾向

＜バリュー株とグロース株の相対株価の推移＞



1975年以降、景気や企業業績の拡大、GAFMA*の世界的台頭前であったこと等を背景に、バリュー株優位の期間が30年以上続きました。

一方で、2007年以降は世界経済の低成長、低金利等を背景に、グロース株優位の期間が続いていました。

足元では、コロナショックからの経済活動正常化への期待や長期金利の上昇等を受けてバリュー株の相対株価に反転の兆しがみられます。

*グロース株の代表格であるGoogle (Alphabet)、Apple、Facebook (Meta Platforms)、Microsoft、Amazonの頭文字を取った呼称。
(注) バリュー株はMSCI Worldバリュー株指数、グロース株はMSCI Worldグロース株指数、いずれも配当込み、米ドルベース。長期トレンドを示すため、データ取得可能期間の推移を表示。1974年12月末を100として指数化した各指数を使用。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



金利上昇局面でグロース株が下落するのはなぜ？

グロース株は一般的にPERが高く、PERの逆数である株式益利回りが低い傾向にあります。金利上昇局面では、PERが高い株は金利と比較した益利回りの低さから相対的な投資魅力が低下し、売られやすくなる傾向があります。

例) **A株**：株価100円、PER10倍 ⇒ **益利回り10%**

B株：株価100円、PER50倍 ⇒ **益利回り2%**

⇒PERの高い**B株**は、益利回りが低いいため、金利が上昇すると投資魅力が低下し売られやすい

◆...◆...◆ 補足 ◆...◆...◆

<p>予想PER (株価収益率)</p>	<p>特定時点の株価を予想EPS（1株当たり利益）で除した倍率です。一般的に、利益からみた株価の割高、割安を判断するために用いられます。 PERが、競合他社や自社の過去平均等との比較で高いと割高、低いと割安と考えることがあります。なお、予想利益の成長率が高いほど、予想PERは高くなる場合があります。</p>
<p>PBR (株価純資産倍率)</p>	<p>特定時点の株価を決算期末BPS（1株当たり純資産）で除した倍率です。 一般的に、純資産からみた株価の割高、割安を判断するために用いられます。 PBRが、競合他社や自社の過去平均等との比較で高いと割高、低いと割安と考えることがあります。なお、PBR1倍未満は、企業の清算価値を下回った株価水準を意味することがあります。</p>
<p>株式益利回り</p>	<p>株価の割安性を表す指標で、株価（＝投資元本）に対して、1株当たり利益（＝投資リターン）がどれだけかを表しています。 PERの逆数（1/PER）となり、通常、PERが低いほど株価が割安とされるのに対し、株式益利回りは高いほど株価が割安と判断されます。</p>

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。
※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。